

# 平成28年度 自己評価結果報告書

社会福祉法人ゆうゆう 認定こども園 すみよし愛児園

## 1. 本園の教育・保育目標

当園では理念として『素朴に丁寧に純真に忍耐強く、子どもを軸として連動する絆を結び、未来社会への人づくり、国づくりの基礎(基盤)力を育む』を掲げています。また、教育保育目標として、目指す乳幼児像は次の3項目になります。

- 1、思いやりのある子ども                      2、意欲のある子ども                      3、生活の中での決まりの守れる子ども

## 2. 重点的に取り組んだ目標・評価

認定こども園に移行したことを踏まえ、子ども達一人ひとりが生命の保持が図られ、安定した情緒のもとで自己を十分に発揮し、自ら学ぶ力が獲得できるような保育を目指し、指導計画を作成した。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
認定こども園としての専門性を、保育者一人ひとりが理解できるよう研修・研究を行なっていく。年間指導計画・月間指導計画・週案(日案)を見直し、認定こども園としての役割が果たせるように努めていく。	認定こども園としての専門性を、保育者一人ひとりが理解できるよう研修・研究を行なった。年間指導計画などの見直しや保育記録での振り返りを丁寧にいき、保育内容の充実を図った。各学年ごとの改善すべき点を考慮し、認定こども園としての役割が果たせるよう更に努力していく必要がある。
保育者同士が協力し、お互いに成長できるような環境の中で、子ども達が生きる力を獲得できるような保育を目指し、園内外の研修の充実を図る。	子どもの発達や子どもの最善の利益を考慮した保育をすすめるために、園外の研修に積極的に参加し、職員が自己の向上を図ることができた。この経験を次年度は園内での保育内容検討に生かし、より実践を深めていきたい。
危機管理マニュアルやヒヤリハット記録の見直しを行い、子ども達が安全で安心な生活が送れるよう努めていく。また、避難訓練などを通し、子ども自身の危機管理能力の向上に繋がるような保育を心がけるようにする。	危機管理マニュアルを見直し、職員間で訓練等の実践研修を行なった。また子ども自身も自らの命を守るためにできることを身につけられるよう、年齢に応じた関わりを心がけた。ヒヤリハット記録については職員全員で継続して取り組み、情報を共有し、改善等に努めた。

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

職員全体が課題の重要性を理解し、積極的に研修に参加しながら養護や教育の面から子ども達一人ひとりの成長に努めた。今後も客観的に自らの教育・保育を振り返りさらに充実した実践ができるように努力を積み重ねていきたい。施設面では環境整備に力を入れており、子ども達が安心安全に遊べる環境になるように努めてきたので今後も継続して行なっていく。

## 5. 今後取り組むべき課題

保育内容の充実	認定こども園として特色を生かした保育を計画し、実践していく。また、評価反省を行ないながら、子ども達の情緒が安定し、生き生きと活動できるような保育を職員全体で目指していく。
子育て支援への取り組み	保育教諭・栄養士・看護師などそれぞれの職種を生かしながら、在園家庭はもちろん地域の子育て家庭に向けても必要な情報提供や相談などを行ない、安心して子育てが行なえるような地域づくりに努めていく。 特別な支援の必要な子どもに対し、適切な指導や援助、関わりが持てるよう専門機関と協力しながら指導計画を作成し、実践していく。
小学校との連携や就学に向けた指導計画について	年長児及び年長の保護者が安心し、期待感を持って進学できるような取り組みを行なっていく。また、放課後児童クラブとの交流も行ないながら、憧れや慈しみの気持ちがお互いに育まれるように関わっていく。

## 6. 学校関係者の評価

学校関係者より、認定こども園運営は良好とのご意見をいただいた。自己評価を行い、職員全員が課題に取り組む中で、よりよい保育を行おうという向上心が見られるとの評価もいただいた。